

地球惑星科学委員会IUGS分科会IPA小委員会（第25期）第5回 議事要旨

日時：令和5年7月23日(日)15:00–16:20

場所：<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/82302238741>

出席：遠藤，堀，西，西田，大路，佐藤，生形

欠席：江崎，齋藤

オブザーバー参加：北村

記録：生形

議事：

1. APC2開催準備状況

最終サーキュラーを発出した。当日に向けた準備を進めている。

2. APA 役員会議への対応

APC2の期間中にAPAの役員会議が開催される。17名の役員のうちAPC2に参加登録しているのは、4か国（中国，韓国，日本，モンゴル）の合計10名である。次期役員の決め方，規約の改訂，財務体制の見直しなどを議論する必要がある。日本人役員の一部を入れ替えるべく準備を進める。次回APC3にロシアとレバノンが立候補の意向を表明しているが，ロシアでの開催は安全上の懸念が拭えないため，慎重に検討する必要がある。

3. IPC6の報告

2022年11月7日～11日にタイのコンケンで開催され，350件以上の講演があった。後の役員によるメール審議で，次回IPC7が南アフリカのケープタウンで開催されることになった。役員会議では現役員がIPC7まで留任する方針が示されたが，一部の役員が退任の意向を示しており，未だ次期役員の構成が確定していない。

4. IUGS -The Second 100

IUGSが世界地質遺産百選を新たに選定する。今後2年に一回選定する方針とのこと。今回は7月28日まで推薦を募集しているが，日本古生物学会からは推薦を行わない。

5. 釜山 IGC について

2024年8月25日～31日に韓国の釜山で開催されるIGCに関して，諸問題の解決に向けて関係者の間で調整を進めてきたところであるが，先だって発出された第二回サーキュラーには問題となりそうな記述が見当たらなかったため，IUGS分科会としては国内に参加を呼び掛ける方針である。APC2でも，韓国のAPA役員が釜山IGCのパンフレットを持参し

て宣伝を行うとのこと。

6. その他

- ・ 26 期 IPA 小委員会メンバーに、日本古生物学会の北村晃寿会長と對比地孝亘国際交流係を加える方向で調整する。
- ・ IPA の雑誌 *Lethaia* がダイヤモンド・オープンアクセス雑誌になった。